

令和3年度 本庄市青少年健全育成のつどい



日時：令和3年11月20日（土）

午後1時30分～

会場：本庄市児玉文化会館セルディ ホール

主催：本庄市青少年育成市民会議

後援：本庄市・本庄市教育委員会

本庄市青少年問題協議会

青少年育成埼玉県民会議





ごあいさつ

本庄市青少年育成市民会議

会長 芦澤 吉一

木の葉が舞い散り、行く秋が惜まれる今日この頃ですが、皆様におかれましては、日頃より青少年育成活動にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

このつどいを主催いたします本庄市青少年育成市民会議は、青少年の健全育成にご尽力している関係団体で組織しており、青少年育成埼玉県民会議に所属し、内閣府や文部科学省などの情報を得て事業の推進を図っています。

さて、国内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う学校の休校や外出の自粛などにより、部活動や学校行事、様々な体験活動が中止になったこと等の影響を受け、多くの児童・生徒が大きなストレスを抱えています。

青少年をめぐるっては、インターネットやスマートフォンの普及に伴い、長時間利用による生活習慣の乱れ、ネットやゲームへの依存、SNSに起因する性被害などの問題が増加しており、また、ひきこもりや不登校、いじめ、虐待、貧困など、社会生活を営む上で困難を有する青少年の問題は依然として深刻です。

これらの多様で複合的な問題の解決には、家庭、学校、地域が一体となって社会全体で青少年を見守り育てていく必要があります。

本庄市青少年育成市民会議では、青少年たちがお互いに手を携えながら、元気に笑顔で、夢の実現のために一歩踏み出す人材に育つことを願っています。ふるさとを愛しつつ、国内だけでなく世界で活躍されることを期待しています。青少年が、広い視野と正しい見識を有し、豊かな情操と思いやりの心を身に付け、たくましく未来を切り拓くことが出来るように環境を整えていくことが、私たち大人の大きな責務です。

その責務のひとつとして、本日の「つどい」を開催させていただきますが、次世代を担う子どもたちに、広い視野と柔軟な発想や創造性とともに、物事を論理的に考える力や、自らの主張を伝え、理解してもらう力を身に付けてもらえるよう、青少年の主張発表を実施いたします。

この主張には、市内6中学校の生徒から素晴らしい作品が寄せられました。青少年が大人社会をどのように見ているか、将来に対してどのような夢を描いているかを知る機会は意外に少なく、私たち大人が、子ども目の通した率直な意見に耳を傾け、家庭教育や地域の教育力に資する貴重な機会となるでしょう。

また、青少年健全育成標語は市内小・中学校の児童・生徒から3,069点もの応募を頂きました。その中から、優秀作品を選ばせて頂きましたが、どの作品も素晴らしいものでした。

さらに、地域の青少年育成関係者や団体より長年にわたり青少年の健全育成にご尽力している方や団体をご推薦頂き、青少年育成功労として表彰させていただきますが、今後とも変わらぬご指導をお願いいたします。

最後になりましたが、日頃より本庄市青少年育成市民会議にご理解ご協力を賜っております皆様にご感謝を申し上げ挨拶といたします。

目次

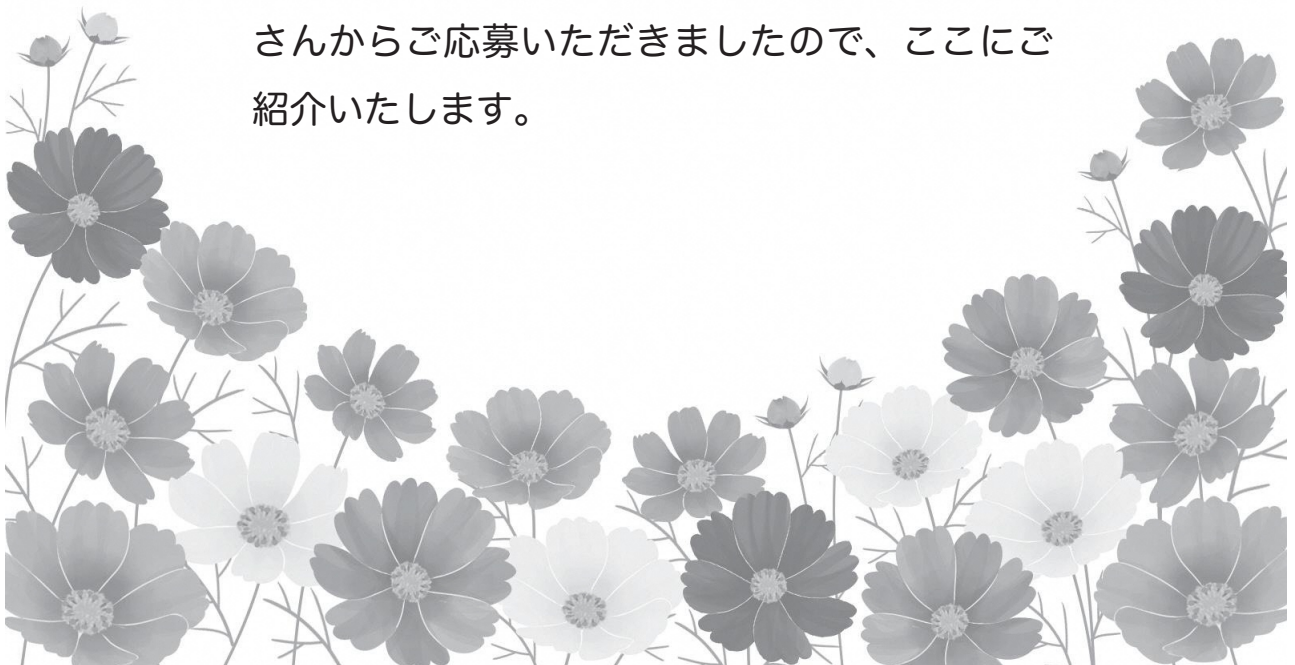
青少年の主張

言葉で人は変えられる（本庄東中学校2年 君波 綾音）	2
夢を叶える（本庄東中学校3年 佐久間 大晴）	4
人とのつながりがもたらすもの（本庄西中学校2年 宮田 理子）	6
人間とペットと殺処分（本庄西中学校2年 高柳 光世）	8
大切なもの（本庄南中学校2年 岩崎 一色）	10
努力（本庄南中学校2年 千葉 優月）	12
明るい未来に向かって（児玉中学校3年 金子 愛瑠）	14
多様性のある社会を目指して（児玉中学校3年 飯島 啓介）	16
自分にできること（本庄東高等学校附属中学校1年 大井 奏乃）	18
翔べ！僕の夢（本庄東高等学校附属中学校1年 飯塚 智亮）	20
その先にあるもの（本庄第一中学校1年 村尾 英彦）	22
みんなを笑顔にするために（本庄第一中学校2年 島村 美沙）	24
青少年健全育成標語入賞作品	26
青少年・青少年育成者等功労表彰	29
本庄市青少年育成市民会議の主な行事	32
本庄市青少年育成市民会議の活動のようす	33
本庄市青少年育成市民会議組織図	34

青少年の主張

青少年の非行やいじめが大きな社会問題として論議されているが、青少年が大人社会をどのように見ているか、将来に対してどのような夢を抱いているかを知る機会は意外に少ない。

大人が、子どもの目を通した率直な意見に耳を傾け、家庭教育や地域の教育力の向上に資することを目的に、市内全中学校に青少年の主張作文を募集したところ、6校12名の生徒の皆さんからご応募いただきましたので、ここにご紹介いたします。



言葉で人は変えられる

本庄東中学校2年

きみなみ あやね
君波 綾音



私は小さいときから身体が大きくて嫌でした。ですが、今は少しずつ嫌という気持ちが無くなってきました。それには理由があります。

私は小学校から身体のことでも悪口を言われることがありました。そして、悪口を言われて嫌だなと思っていました。体も重いため足が遅いです。小学6年生の時にクラスで全員リレーをやりました。私が走っている最中に相手チームと差がついてしまい、私が入っているチームは負けてしまいました。その時、私はただ「負けちゃったな。」と思っていました。でも、その思いは一瞬で打ち消されました。隣の席の人が私に向かって言ったのです。

「お前のチームの人が、君波のせいだって言っていたよ。」

私は自分に自信が持てなくなると同時に、学校に行きたくないと思ってしまいました。私は友達に相談しました。友達は、

「そんなこと忘れて一緒に遊ぼう。」

とってくれました。ですが、その後もしかしたら私に対して陰で笑っている人がいるのかなと深く考え不安になりました。努力して痩せて、もう体型のことについて何も言われたくない、変わって見返したいと思っても変われませんでした。私はこんな自分が大嫌いでした。

私は今、中学2年生です。小学校の時から体型は変わっていません。変わっていないのは、渡辺直美さんの言葉に救われたからです。

みなさんはオリンピックで直美さんの言っていた言葉を知っていますか。私はその言葉で自分自身に勇気が持てました。直美さんは、1987年10月23日に生まれました。日本のお笑いタレントで、今では司会者、女優、声優そして歌手として活動しており世界

中で活躍しています。直美さんは、私と同じように体型のことで悪口や批判を言われた経験があります。オリンピックの開会式で、直美さんをオリンピッグという名前で、ピンクの衣装で耳を豚にして出演させる案が出ていたというニュースがありました。その時に、直美さんが言っていた言葉があります。それは、

「太りたいなんて思わないし、痩せられるなら痩せたい。でも、今の自分がこれだから今の自分が好き。」

という言葉でした。この直美さんの言葉は、今までの私の気持ちを大きく変えてくれました。

今の私自身が小学6年生の時の私の心に対し、優しく言葉をかけてあげたいと思います。当時の私は誰が悪口を言ったのか知りたくて、友達に聞いたことがありました。でも、見つけることはできませんでした。

今思うと、何で犯人探しを必死にしたのかと後悔しました。それが無駄な時間だと気づきました。私は心が動かされ変わったからです。私は悪口を言っている人は勝手に言っていればいいと思います。人を傷つける言葉を言っている人は、言われている人の気持ちが理解できないから言っているのだと思います。悪口が気にならなくなったのは、直美さんの言葉のおかげです。そのくらい言葉には人を変える力があり、人を変えられるのだと思います。体型や見た目で人を判断してほしくありません。私も昔は言葉で人は変えられるということを信じていませんでした。でも、私は直美さんの言葉で変わることができました。だから、私は人が勇気づけられる言葉や直美さんのような言葉を発信し、それを聞いた人が元気になれるようにしていきたいです。言葉で人は変えられるということを分かってもらえるように頑張っていきたいです。しかし、このようなことが簡単にできるのが現実ではありません。私は人が勇気づけられる言葉を発信できるように、日々の努力を大切にしていきたいです。





夢を叶える



本庄東中学校3年

さくま たいせい
佐久間 大晴



新型コロナウイルスの世界的な流行により、2020年、私達の生活は一変しました。昨年の4月に緊急事態宣言が発令され、学校は一斉休校になり、部活動、学習塾、野球のクラブチームなど、すべての活動が休止しました。そして、数年前から準備を進めていたオリンピックも延期。今まで経験したことのない毎日が始まり、我慢の一年になりました。

今年2021年、オリンピックが一年遅れて開催されました。残念ながら無観客でしたが、私はテレビで観戦し、心からの声援を送りました。特に、地元児玉高校出身、新井千鶴選手の柔道は圧巻でした。準決勝でマディナ・タイマゾワ選手と本来の試合時間4分の約4倍を越える16分41秒の死闘を制して、決勝進出。直後の決勝でも勝利、見事に金メダルを獲得しました。とっくに体力は限界を超え、フラフラになりながら、互いに気力だけで戦う姿は本当に感動的でした。子供の頃からオリンピック出場を夢見て、血のにじむような努力をして出場を勝ち取った選手達。晴れ舞台で活躍する姿は、成績に関係なく「カッコいい」です。

私は大好きな野球の試合を楽しみました。一試合、一試合にかける想い。全員が与えられた役割を最後まで諦めずにやり抜いた結果、無敗の優勝。金メダルを勝ち取った選手の執念と気迫を感じたオリンピックの野球でした。

私の夢は、目標としている高校で甲子園に出場し、レギュラーとして活躍することです。昨年はコロナ禍で中止された全国高等学校野球選手権大会も、今年は無事に甲子園で開催されました。憧れの場所で活躍している高校生の姿を観ることができました。甲子園球場での生き生きとした高校生のプレーは、本当にすごいと思いました。

来年は私もあの場所に立ってプレーしたい。そして数年後のオリンピックに出場し、観る人に感動を与えるアスリートになりたいとも思いました。あのような大舞台で自分の納得のいくプレーをするためには、相当な精神力が求められます。

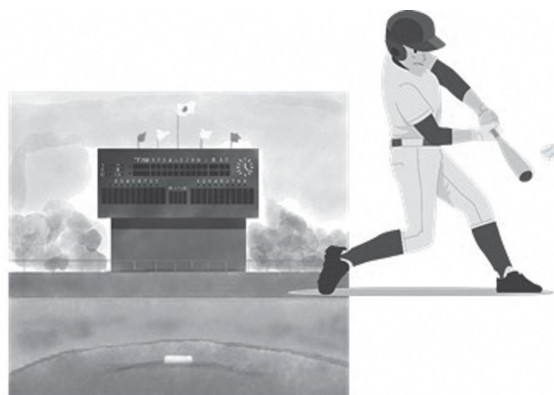
私はその時のための準備を今から始めます。まずは、日々の授業に集中して取り組みます。分からないことをそのままにしないで、解決する努力を怠らずにやっていきます。目指す高校のレベルは私には高く、今の私には難しいですが、目の前の事から逃げずに高い目標に向かってやっていこうと思います。

そして野球です。私は本庄のクラブチームに所属しています。昨年一年間、コロナ禍でチームの練習や試合が思うように出来ませんでした。私は一人でもできる事を考え、実行してきました。毎日の自主練を欠かさず続けること、食トレ一日三食しっかり食べること、睡眠をしっかり取ることです。体づくりを意識して、規則正しい生活を心がけました。今年も夏の全国大会に出場するという大きな目標がありましたが、予選ベスト8で敗退し、目標を達成することは出来ませんでした。とても悔しかったです。この悔しさは次の目標に向かうステップにします。

三年間一緒にプレーしてきたクラブチームのメンバーでの最後の公式戦も、残念ながらコロナで中止になってしまいました。今まで練習してきた分、思いっきりプレーにぶつけたかったのですが、その思いもまた、高校生活に向けての糧にします。

高校、大学そして、いつまでも大好きな野球を続けたいです。そのための基礎をしっかりと築き、目標達成に向けて、一日一日を大切に、一生懸命に努力していきます。

新型コロナワクチン接種も徐々に進んできましたが、コロナ禍はまだまだ収束しそうにありません。私は、友達と共に過ごせる日々の幸せをかみしめ、コロナ禍を乗り越え、夢が叶う時が来ることを信じて頑張ります。



、人とのつながりが もたらすもの

本庄西中学校2年

みやた りこ
宮田 理子



皆さんは、オンライン授業を受けたことがありますか？私は中学校に入学してから今までの間で、半年以上オンライン授業を受けてきました。オンラインと対面を経験することで感じた、人とのつながりがもたらすものについてお話したいと思います。

オンライン授業で良いと思うところは、登下校などの移動がないため時間の節約となり、効率的に勉強ができるところや、録画した授業を後から確認できることです。後から授業内容を確認できるということは、授業当日に体調が悪くて受けられなかったり、テスト前に苦手分野を振り返ることができるので良いと感じました。

一方、オンライン授業で良くないと思ったところは、コミュニケーションの力が落ちてしまったことや、ずっとオンライン授業を受けているため、自分の実力が把握しにくくなってしまっているところ。コミュニケーションについては、仲の良い友達と直接話す機会が全くなくなり、いざ対面授業になった時に初対面のように話しづらくなってしまったので、とても落ち込んだ記憶があります。学校の授業についても、オンライン授業が長期に渡って続いたため、試験や検定が延期となり、自分の勉強していることが身についているのか周りの人と確認することもできませんでした。そのため、対面で授業を受けている人と身につけられるものの差が生まれてしまうのではないかと、焦りに似た気持ちを感じていました。

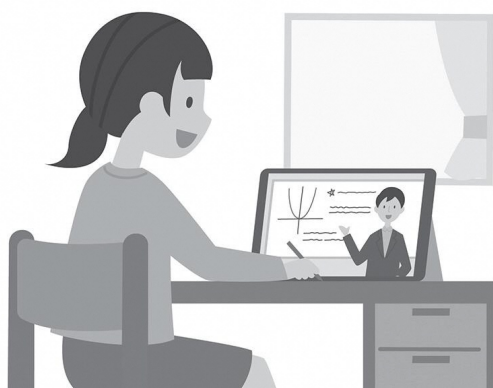
今、実際に対面授業を受けてみて、やはり友達と会って話すことができたり、部活により同学年の人だけではなく、他学年の先輩・後輩とも交流することができ、人とのつながりの大切さを改めて感じました。人とのつながりによって、今まで知らなかったことを教

えてもらったり、自分のことを周りに伝えることでコミュニケーションをとれるようになりました。そういったことが、勉強だけでなく、様々なことに挑戦してみようという意欲につながっています。学習面では、やはり家でオンライン授業を受けるよりも、学校で対面で授業を受ける方が質問や発言をしやすく、先生の回答の言葉だけでなく、声の強弱や表情から参考になることもあるので、理解度が上がっているのではないかと思います。

ニュースなどでも、テレワークを普及させるなどオンライン化が社会的に進んでいるようですが、その問題点としてコミュニケーション不足が挙げられているのを目にしたことがあります。コミュニケーション不足を補うために、入社するようにした会社もあると聞きました。実際に、オンラインと対面を経験してみると、私も人とのつながりがもたらすものはとても多く、影響力も大きいものだと思います。

それでも、まだしばらく新型コロナウイルスとの戦いは続きそうですし、これから新しい感染症などが出てくるかもしれません。どうしてもオンラインで授業をしなければならない場面が出てくるかもしれません。その時には、オンラインと対面を上手く組み合わせ、学校生活が送れるようになると良いと思います。対面ほどではないにしても、オンラインで人とのつながりが保てるような工夫が自分でもできるよう、いろいろな方法を試してみたいと思います。

最後に、私の今までの経験から、もしこのようなことがあった時に自分が今出せる最大限の力を出せるようにしたいです。



人間とペットと殺処分

本庄西中学校2年

たかやなぎ こうせい
高柳 光世



今、日本だけでなく、世界中でたくさんの動物が人間に飼育されています。2020年のデータでは、日本で犬は約848万9千匹、猫は約964万4千匹もの数が飼われていて、合計すると約1,813万3千匹です。他にも、ハムスターなどの小動物やインコなどの鳥類まで、本当にたくさんの動物がペットとして暮らしています。

そんなペットの世界にも問題があります。その中でも、最も深刻な問題は、「数多くの動物が殺処分されていること」だと思います。

例えば、ペットショップで売れ残ってしまった犬や、飼い主に捨てられてしまった猫などは、殺処分されてしまう可能性があります。

普段、私達は肉や魚を食べたりして生活しています。しかし、それは我々が生きていくために必要な命だと思います。動物性の食品のおかげで、必要な栄養をとり、健康に過ごすことができます。しかし、犬や猫の殺処分はどうでしょうか。殺処分の原因を作ったのは人間だし、殺して悲しむのも人間です。私は、人間がきちんと動物の管理をしてあげれば、わざわざ殺さなくても大丈夫だと思います。つまり、「不必要な死」なのではないかと感じます。

必要も無いのに、たくさんの動物達の尊い命を奪うのは間違っていると思います。なので、私は「動物の殺処分がゼロ」になると良いなと思いますが、そう簡単にはいきません。

なぜなら、今の世の中は、ペットはペットショップで買うというのが主流だからです。もちろん、ペットショップ自体を批判している訳ではありません。しかし、ペットショップで買う人が多いと、必然的に子犬や子猫が増えてしまい、殺処分の増加につながってし

まいます。

また、ペットを捨てる人がいるのも大きな原因です。「可愛くなくなった」、「こんなに大きくなると思わなかった」などといった飼い主の無責任な理由で捨てられ、殺処分されてしまうケースもあります。

ペットショップの事はともかく、捨てるのは本当にひどいと思います。調べてみると、お店などでペットを見て、よく考えずに衝動買いしてしまう人もいます。私は、ペットを買ったり、貰ったりするときは、その動物が死ぬまで面倒を見切ることができるか、しっかり考えてから飼い始めてほしいと思いました。

私も今は2匹の猫を飼っています。2匹とも、インターネットの里親募集で見つけ、譲り受けさせていただきましたが、もし自分達が今飼っている猫を貰わなかったら殺処分されていたかもしれないと考えると、複雑な気持ちになります。犬や猫の殺処分は、窮屈で劣悪な環境の部屋に入れられ、二酸化炭素で窒息死させるという方法です。殺処分の様子を見た事は無いですが、想像するだけで心が痛くなります。

動物を捨てたり、傷つけたりするのは立派な犯罪です。ですが、意外とそのことを知らない人も少なくないです。辛い現実ですが、もっといろいろな人に動物の殺処分について関心を持ってほしいと思います。そうなれば、どんどん反殺処分活動も広がっていくと思うので、それで少しでも動物を捨てる人たちが減ると良いなと思いました。

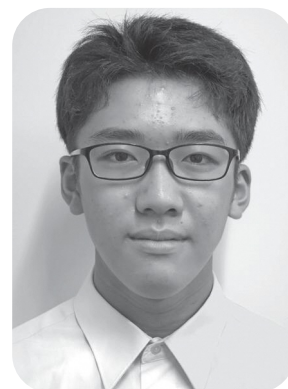
スケールの大きな話になってしまいますが、いずれは世界から「不必要な死」が無くなってほしいです。殺処分に限らず、殺人などで亡くなってしまう命が無いような平和な世の中を、人類全体で築いていきたいと思います。



大切なもの

本庄南中学校2年

いわさき ひいろ
岩崎 一色



みなさんは、家族や友達、今の学校を大切にしていますか。私はまだ夢が明確には決ま
ていません。ですが、夢を叶えるため、また、様々な困難を乗り越えるためにも、それら
はなくてはならない大切な存在と考えています。

まず、家族の存在です。家族にはいつもお世話になっています。生きていくために必要
な食事はもちろん、人とのかかわり方やこれからの社会を幸せに生きていくために必要な
知識を教えてくださいました。一生分の感謝でも足りないくらいのことを教えてくださいました。
家族がいてくれたからこそ、いろいろなことを知り、知識が増え、私自身の世界が広がり
ました。その結果、夢を持つことができました。くじけそうになった時に支えてくれたの
も家族でした。本当に家族は、なくてはならない存在です。

次に、友達存在です。友達が私を客観的に見て、私の得意・不得意なことを指摘して
くれることにより、自分の知らない一面を知ることができ、成長につなげることができま
した。また、同年代ということもあり、ありのままの自分を見せることができ、悩み事を
相談しあうこともありました。おかげで何度も救われました。時には傷つけたり傷ついたり
することで、相手の立場になって物事を考えられるようになりました。大変な時もあり
ますが、この経験が必ず将来に生きていくと考えています。

最後に、学校の存在です。学校生活は先ほど述べたように、友達を多く作れる場所であ
り、人とのコミュニケーションの取り方を学び、実践することができる場所です。また、
家では決して身に付かないであろう知識や技術を身に付けられる場所でもあります。例え
ば、集団生活の仕方です。集団生活を通して、集団で生活する為に必要な規律やルール、

マナーを学ぶことができます。さらに、中学校には部活動があり、現在私はソフトテニス部員として活動しています。そのおかげで、ソフトテニスができるようになり、体力が向上し、体も成長しました。また、試合に負けた時に、なぜ負けたのか、どうすれば勝てるか、自分のプレーを振り返る習慣が身に付きました。おかげで、自分の課題を見つけ改善するにはどうしたらよいのかを考え、行動できるようになりました。この習慣は、将来様々な課題に直面した時に活かせると考えています。

以上の三つの存在は、私の夢を叶えるためには必要な力を与えてくれる大切な存在です。どれか一つでも欠けてはいけません。なので、三つの存在の中で自分のなりたい夢を見つけていきたいです。これまで私はいろいろな人に支えてもらって成長してきました。だから私は、今度は私が誰かを支えたり社会に役立てるような仕事をしたいと考えています。

現在、世界中の人々が新型コロナウイルスと戦っています。この現状を見て、私は今こそ、家族・友達・学校の三つの存在は、今まで以上に協力し合うことが大切ではないかと考えています。学校が分散型授業になり、部活動や大会が中止・延期になりました。家族旅行や友達との遊びがなくなりました。未だに終わりの見えない中で、いろいろなことを制限して生活しています。正直、不安やストレスを抱えています。友達も同じだと言っていました。だからこそ、互いに協力し、励ましあい、困っていることがあれば助け合うなど、それぞれの人ができる限りのことを一生懸命に取り組むことが必要だと考えています。



努力

本庄南中学校2年

ちば ゆづき
千葉 優月



皆さんは今、何か努力していることはありますか。努力することは好きですか。私は今、勉強や習い事、学校行事など様々なことを精一杯努力しています。なぜなら、努力することは生きていくうえで大切なことのひとつだと考えているからです。

私は勉強を通して努力をすることの大切さを学びました。私は小学生の時、勉強が嫌いでした。しかし、仲の良い友達とライバル関係になり、負けたくない一心から勉強に取り組む姿勢や向き合い方が変わり、自ら勉強に取り組むようになりました。すると嫌々勉強していたころは、なかなか学んだことが定着しませんでした。自らの意志で勉強を毎日取り組むようになったことで、同じ勉強量でも今まで以上に勉強した内容が定着するようになったと実感しました。また、テストの点数も伸びました。自らの意思で精一杯努力することの大切さを学ぶとともに、学ぶ習慣も身に付けることができました。

また、習い事でも努力の大切さを学びました。私は幼稚園生時からピアノを習い始めました。ピアノをどうしても弾けるようになりたいという気持ちから、両親にお願いして始めました。当初は憧れのピアノのレッスンに期待があふれていました。しかし、期待は打ち破れました。好きで始めたピアノのレッスンですが、大変な時も多く、練習が嫌になりマンガを読んだりゲームをする時間が欲しい時もありました。自分の思い通りに弾くことができず、心が折れそうな時もありました。ですが、自分からやりたいと言って始めたことを諦めたくないという意地と、弾けるようになりたいという思いから努力し続けました。今では、弾きたいと思う曲に挑戦できるようになるまでになりました。練習を通して、諦めずに努力をすれば、必ずその努力は報われるということを知りました。今でも辛い時

はあります。しかし、ピアノの練習から学んだ、「努力は裏切らない」を大切にして、ピアノ以外の何事にもゴールを目指して努力を続けていきます。ピアノに関してはさらに練習を重ね、自分の納得のいく演奏をしてみせます。

勉強やピアノ以外にも、辛くても努力していることはたくさんあります。それら全ての経験を振り返って今思うことは、諦めず努力し続けることの大切さです。努力を続けることで、いつか必ずどのような形であれ報われます。きっと、勉強も小学生の時「勉強が嫌いだから」と言って諦めて怠けていたら、今はもっと勉強をすることが嫌いになり、成績も上がらなかったと思います。ピアノも、あの時諦めて弾くことをやめていたら、自分の弾きたい曲を弾くことはできていなかったと思います。そして、そのことを必ず後悔していたと思います。

辛い時に諦めなかったからこそ、今の私があります。努力を積み重ねていくことはとても苦しく辛いことですが、必ず自分の成長につながると思います。どんなに結果が出なくても、努力を続ければ必ず成果は出ます。成果は自分自身のモチベーションにもなり、次への挑戦につながります。人は誰でも良い時もあれば、悪い時もあります。良い時は今までの努力を継続し、悪い時には努力の仕方を見直して努力を続けることが大切だと思います。

私は自分の人生を豊かにするために、これからも考えて前へ進んでいく努力を積み重ねていきます。



、 明るい未来に向かって

児玉中学校3年

かねこ めりる
金子 愛瑠



私は将来、自分の個性を最大限に活かすことのできる仕事に就き、社会に貢献したいと考えています。このような考えが生まれたのは、私が参加している犬の保護活動が深く関係しています。

私は、保護団体のスタッフさんたちが保健所から救い出した犬を、一時的に預かるのではなく、里親となって家族として迎え入れ、彼らが犬生を全うすることができるようにサポートをしています。この保護活動を通して犬から得たことは、主に五つあります。

一つ目は、他人の気持ちを察することです。犬は私たちと同じように、人の言葉を話すことは出来ません。だから、犬が何を思っているのかを察することが求められます。このように相手の気持ちを察するということは、人間社会においても重要であると思います。

二つ目は、根気強く自分の気持ちを伝えることです。トラウマを抱えている保護犬と打ち解けるには、とても時間がかかることがあります。そのため、どうすれば犬に気持ちが伝わるのかを、犬の立場になって考え、試行錯誤しながら伝えようとする努力が必要です。犬にも性格があるので、伝わりやすい子もいれば伝わりにくい子もいます。ですが、根気強く伝え続けることで、いたずらや過度に吠えてしまうなどという問題行動を改善することができたり、愛情が伝わり信頼関係を築くことができるなど、良い方向に導くことができると思います。人間関係においても、根気強く伝え続けることの大切さという点を学ぶことができています。

三つ目は、気持ちはその時に伝えるということです。これはごく当たり前のことのように感じますが、意外と感謝の気持ちや謝罪など、その時に伝えなくてはいけないのに曖昧

にしてしまうという人は少なくありません。多くの犬は喜びを感じたときにその気持ちを伝えに来てくれます。感謝の気持ちや相手の素敵などところを見つけたときにその場で伝えることは、とても良いことだと思います。また、謝罪の気持ちもその場で素直に伝えることで、分かってもらえることがあると思います。そんな犬の行動を見習い、ポジティブな気持ちは特に、その場で相手に伝えるよう心がけています。

四つ目は、寛大な気持ちで受け入れることです。様々な犬がいますが、穏やかであったり、好奇心旺盛であったりと十人十色です。これは、人においても同じことが言えると思います。長所があれば、短所もあります。短所ばかり見ていては、相手の良い部分が見えず、せっかく良い関係が築ける相手であっても、良い関係が築けずに終わってしまいかねません。このことから、犬に対しても他人に対しても寛大な心を持って接することは、とても重要なことだと学んでいます。

五つ目は、無償の愛を持つことです。私は今まで、犬からたくさんの愛を貰いながら生きてきました。今度は、私が犬に愛情を今まで以上に注いであげたいです。また、人の世界においても、無償の愛を必要としている人は多くいるので、犬から貰った愛を犬だけでなく、ボランティアや寄付などという形で分け与えてあげたいです。

犬の保護活動から学んだことは、どれも自分自信を成長させるためのものばかりです。これらの学んだことを自分の力にし、将来の夢の実現に繋げていきたいです。そして、犬の年間殺処分頭数が多いという現状を変えるためにも、一度迎えた家族は、最期まで責任を持って面倒を見ることの大切さや犬の保護に関する知識を広めて、殺処分ゼロの世の中を創っていきたいです。

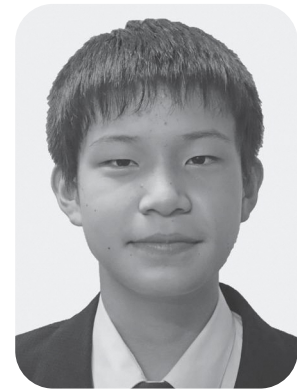
未来の自分がどんなことをしたら人の役に立てるのか、社会の一員として恥ずかしくない行動を取れる大人になれるのかを自問自答しながら着実に前進します。



多様性のある 社会を目指して

児玉中学校3年

いいじま けいすけ
飯島 啓介



みなさんは、東京2020オリンピックでどのような場面が印象的でしたか。女子ソフトボールの金メダルや卓球混合ダブルスの金メダル獲得など、様々なドラマがありました。そんな中で、私が特に印象に残っているのは、女子サッカーのイギリス代表の選手達が試合前に片方のひざを地面につけていたことです。私は、あのポーズを見たとき、イギリスの選手達が何を意味していたのか、わかりませんでした。そこで、気になって調べたところ、「膝つき」は、2020年5月にアメリカで起きた白人警察官による黒人男性の暴行死事件を機に広がった「ブラック・ライブズ・マター（BLM）運動」への共感を示す意味があるということがわかりました。そして、イギリス国内で起きていた黒人差別に抗議していることもわかりました。私は、なぜ、世界中でそのような人種差別が起こるのだろうか、と残念な気持ちになるとともに、イギリスの選手達の勇気ある行動に感動しました。肌の色の違いがあるだけで、なぜ差別が起こるのでしょうか。

私は幼いころ、父の仕事の関係でフィリピンに住んでいました。母がいないときは、フィリピンの方が私の面倒をみてくれたり、私が原因不明の感染症にかかったときは、心配して病院をさがしたり、付き添ってくれたりしたこともありました。フィリピンの方々は、貧しい生活を送っている人が多かったけれど、いつも笑顔で、困ったときは手をさしのべてくれました。フィリピンの方々のように、人種に関係なく、国境を越えて助け合える、そんな社会であってほしいと私は思います。

私は、そのような社会を目指して、生徒会活動では、「児玉中生で国際理解を深めよう！～グローバル化社会の発展を目指して～」というテーマのもと、活動しています。私達の

身の周りには、多くの外国人が生活しています。児玉中学校の生徒達が、より多くの国を知り、関心を深め、身近に感じてもらうためにも、生徒会では、様々な国の紹介をしています。そして、異なる文化をもつ人々を理解し、将来に向けて共生社会をつくっていくきっかけとなっていけたらうれしいです。また、SDGsなど、世界中の人々が取り組んでいくべき課題についても、自分達ができることから活動したいと考えています。SDGsの中でも、暴力や差別をなくするという目標がかかげられているので、取り上げていきたいです。

今は、コロナ禍で人流が止まってしまっていますが、私達が大人になったときは、日本にいろいろな国の人が来たり、逆に日本人が国境を越えて、世界の国々に行くことがより活発になると考えます。そして、身の周りには、様々な人種の人と生活したり、仕事をしたりするのが当たり前な社会になっていると思います。そういう中で、私は、「多様性」が大事だと思います。多様性とは、いろいろな特徴を持った人を認め合うということであり、差異や違いを互いに理解し、尊重することです。肌の色や宗教、考え方、障害、ジェンダーなどは関係ありません。みんな違ってみんな良いのです。オリンピックの日本代表にも、様々なルーツを持つ選手達が活躍していました。私達は、そういう多様性のある社会を目指すべきなのです。そして、私がフィリピンの方々に受け入れてもらえたように、今度は、私達が多様な人々を受け入れられる社会をつくっていきたいと思います。



・ 自分にできること

本庄東高等学校附属中学校1年

おおい その
大井 奏乃



私には、好きな詩が二つあります。一つ目は、金子みすゞさんの「大漁」という詩です。

朝焼け小焼けだ、大漁だ ^{おおばいわし} 大羽鰻の大漁だ。

浜は祭りのようだけど、海のなかでは何万の、鰻のとむらいするだろう。

この詩のことを私が初めて知ったのは、小学校3年生くらいの時です。当時、入団していた合唱団で、この詩にメロディーをつけて歌いました。当時は、言葉の意味も理解していませんでした。しかし、小学校5年生くらいの時に、「とむらい」の本当の意味を知り、この詩が好きになりました。そして、もう一つの好きな詩とは、まど・みちおさんの「きょうも天気」という詩です。

花をうえて 虫をとる 猫を飼って 魚をあたえる

Aのいのちを養い Bのいのちを奪うのか

この老いぼれた Cのいのちの慰みに

きのうも天気 きょうも天気

この詩との出会いは、小学校6年生の時です。中学校の合格祝いに母が買ってくれた、まど・みちおさんの詩集の一番終わりに載っている詩です。私がこの詩を好きな理由は、まど・みちおさんと言えば、童謡の「ぞうさん」や「ビスケットの歌」などの詩人というイメージがあったのに、しかし、この詩は、生き物のいのちについての詩で、こういう詩も書くのだなと新鮮に思ったからです。

この二つの詩には、ある共通した意味が込められているように思います。その共通した意味とは、私たち人間や、この地球に生きる者は皆、他の者の命を頂き、その上に自分た

ちの命があるということです。私たちが生きるためには、他の生き物の尊い命を毎日毎日犠牲にしています。仕方がないことかもしれません。しかし、私たちはその奪った尊い命さえも粗末にしている現実もあります。

最近、テレビ番組で外国の秘境の村の密着番組が放送されていました。私は、たまたまその番組を見ていました。すると、突然、飼育されていた豚が広場に連れてこられました。何故か、その豚は鳴いていました。その鳴き声はよく物語で聞く、ブヒッとかなではなく、人間のような悲しい鳴き声でした。必死に何かを訴えるような目で抵抗していました。そして、その豚は殺されました。毛をとられ、肉となり、村人の食料となりました。あまりに急な出来事でした。そして、豚のあのような鳴き声は初めて聞きました。豚自身がこれからどうなるのか分かっているのだなと思い、何とも言えず暗い気持ちになりました。しかし、私も豚肉は食べます。祖父によると、日本では電気で豚を失神させ、意識の戻らないうちに殺すそうです。私が豚だったら、その方が痛くないと思いました。しかし、自らの命を犠牲にしてくれている事実が変わりません。このことは豚だけでなく、私たちが頂く命あるもの全てに言えることです。だからこそ、私たちは絶対に、食べ物を無駄にしてはなりません。食べ物を粗末にすることは、私たちの為に犠牲となった命を粗末にすることと同じだからです。

食品ロスの問題が深刻化してきています。

私は、時々、自分の都合で給食を残してしまうことがあります。しかし、これからは、自分の分は責任もって食べる、なるべく残さないといった当たり前ですが、自分にも確実にできることに取り組んでいきます。みなさんも、自分にできることから始めてみませんか。





翔べ！僕の夢



本庄東高等学校附属中学校 1年

いづか ともあき
飯塚 智亮



僕は、飛行機や空港が大好きだ。飛行機や空港が好きになったきっかけは、家族で行った沖縄旅行で空港で働く人々を見て、「かっこいいなあ」と思ったことだ。空港で見るグランドハンドリングスタッフ整備士の姿を見て、いつか自分も、大空を飛ぶ飛行機に携わる仕事がしたいと思った。

僕の家族は沖縄旅行をする中で、沖縄戦の戦跡を訪れている。「戦争の悲惨さを知り、沖縄の人達が抱えている悲しみや苦しみを理解してほしい」という両親の願いからだ。そこで、毎年、僕は76年前の沖縄、そして、当時の日本に思いをはせる。今の平和な日本からは想像もつかないような、暗く苦しい時代が日本にもあった。5年前に亡くなった僕の曾祖父は、戦争時代のことを、

「モテてしょうがなかった」

と笑いながら語っていたけれど、それは小さかった当時の僕を怖がらせないためのおどけた言葉だったのだろうと、今なら理解できる。でも、曾祖父の言葉から、暗い時代にも、何か明るさを見つけて、懸命に生きようとした当時の人達の姿が垣間見える気もする。

僕は、今まで戦争について、たくさんの本を読んできた。たくさん読みすぎて、両親から読書禁止令が出るくらい、たくさんの本を読んできた。その中で、僕は『永遠の0』という本が特に心に残っていて、小学校の卒業アルバム写真もこの本と一緒に撮ったくらい、僕の中ではベスト1な本だ。この本は、太平洋戦争末期、日本が劣勢の中、それでも日本の勝利を信じて、特攻隊として敵の艦艇に挑んで散った人の、実話をベースにしたフィクションの小説だ。僕は、この本を読むと胸が重く沈んでいく。大好きな飛行機の訓練をす

るのにその先にあるのが死だなんて、どんな思いで訓練していたのだろう。

今年の夏、終戦記念日に特攻隊を特集した番組をテレビで見た。そこに描かれていた特攻隊員は、子供が好きで、明るくて、優しく、だけれど劣勢だった日本のために、自分の恐怖心と闘いながら何度も特攻の訓練をしていた。人の命を命中率で表すのは良くないと思うが、命中率で表すと約11%。その11%のために、僕より5歳くらい年上の18歳から20歳くらいの人達が、かけがえのない命を散らした。その人達にも、たくさんの夢と、大事な家族と、大好きな仲間がいたのだろう。僕と同じように、本が好きで、きのこが嫌いな隊員もいたかもしれない。一人一人、僕と同じように、悩み、笑い、時に涙する人間だったのだと思うと、そんな人達を道具のように扱った戦争が、すごく憎く思う。実際、「搭乗員は消耗品、整備士は備品」と言っていた上級幹部がいたそうだ。

僕は、今までたくさんの太平洋戦争を扱った本を読んだ。飛行機好きなことから、今の自衛隊に興味を持ち、自衛隊の装備については、実はクラス一詳しいのではないかと自負している。

そこで、抱き始めた思いがある。

僕も日本の平和を守る一員になりたいという夢だ。

今、僕の夢は防衛大学校に行き、将来は、海上自衛隊で働くことだ。叶うなら、人の命も救えたら本望なので、防衛医科大学校で医学を学び、将来は、海上自衛隊に配属されたい。

76年前、たくさんの若い命が海に散っていった。その海で、僕は日本を守るために働きたい。ついでに海なし埼玉県で育ったから、海への憧れは人一倍強い。心ゆくまで大海原を眺めてもみたい。

将来を思うと、本当に実現できるのか不安になる。けれども自分を信じて、精一杯努力していきたいと思う。

未来のために、そして日本のために。





その先にあるもの



本庄第一中学校 1年

むらお ひでひこ
村尾 英彦



皆さんは、現在日本で一番使われている発電方法を知っていますか。それは火力発電です。火力発電は、効率が良く広い土地を必要としないため、国の面積が狭く電気需要の多い日本では一番使われています。ですが、火力発電には地球温暖化の原因になっている二酸化炭素を排出するという大きなデメリットがあるのです。

2015年、国連が持続可能な社会を実現するために17個の目標を定めました。それが、最近よく耳にする「SDGs」です。その中に「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」という項目があります。では、考えてみてください。先ほど述べた火力発電は、クリーンなエネルギーだと言えるでしょうか。火力発電は効率はいいいのですが、環境への影響は多大です。決してクリーンとは言い切れません。だから最近、色々なエコな発電方法が開発されたり実用化されたりしています。日本政府は、2030年には火力発電を7割から4割に減らすという目標を掲げていますが、根本的に手段を変えるというだけでなく、今ある手段をどううまく改良し二酸化炭素を減らすかが、持続可能な発展のカギとなるだろうと思いました。

小学校のときに読み聞かせの時間で聞いた、世界で一番貧しい大統領のスピーチで心に残っている言葉があります。

「我々は発展するために生きているわけではありません。幸せになるために生きているのです。」

エネルギー問題について考えるようになって、この言葉の重みを知ることになりました。現代の、便利を追い求めすぎていることが環境問題に直結していると思います。ムヒカ大

統領が言うように、なぜ「早く多く消費」しないといけないのでしょうか。過剰な生産、食品ロス、挙げれば問題が山積みです。ですが、一人ひとりの心がけで解決する問題です。いえ、一人ひとりが意識しないと解決しない問題ばかりです。最近では、食べ残しをしない、買い方を考える、プラスチック製品はなるべく使わない、節電など自分の生活を見直すようにしています。

そのほかにも、中学生になった僕には変化があります。前よりも目的意識をもって勉強に取り組むようになりました。特に理系の科目が好きで、以前よりも勉強を頑張っている自分がいます。幼稚園の頃から微生物が好きでした。はじめて図鑑を見たときに、奇妙な見た目のものから宝石のようなものまで、さまざまな種類があって面白いと思いました。今でも図書館で図鑑を借りてながめていると、ワクワクした気持ちになります。僕は気になるととことん追求しないと気が済まない性格で、いつものように微生物について調べたら、ミドリムシ（微生物の一種）と火力発電についての記事を見つけました。内容は、火力発電所の近くにミドリムシを培養したプールを設置して、二酸化炭素を吸収するというものでした。確かにミドリムシなら、藻の一種であるため二酸化炭素を吸収できます。それに、その作用によって増えたミドリムシを使って、栄養価の高い食品や飛行機をも飛ばすことができる燃料などに利用できます。エコでありながら効率の良い発電ができる、まさに非の打ちどころのない方法だと思いました。僕は、このミドリムシに可能性を感じています。あんな小さな生命体が地球を救うと思うと、とてもワクワクします。

今、勉強を頑張っていますが、その延長線上にあるのは、大好きなあのミドリムシを使って、きれいな地球を後世に残していくという僕の夢です。



みんなを笑顔にするために

本庄第一中学校2年

しまむら みさ
島村 美沙



2019年12月31日、中国湖北省武漢市から原因不明の肺炎の集団感染事例がWHOへ報告されました。この日から、私達の生活が変わってしまいました。次の年の3月には学校が休校になりました。私の通っている中学校はICT教育が徹底して行われており、授業はすぐにタブレットを使ったオンラインで受けることができましたが、それでもクラスの皆と会えない寂しさ、一人で学習する孤独感は想像以上でした。通常登校が始まってからも、部活の活動日が決められて思うように活動できなくなりました。それから、楽しみだった給食も前をむいて友達と楽しむ時間ではなくなりました。日に日に増えていく感染者のニュースを観たり、人通りが少なくなった歩道を歩いたりすると、これからどんなふうに世の中が変わっていくのだろう、感染したらどうなるのだろうという未知のウイルスへの不安が押し寄せます。それでも、私の今の我慢が、新型コロナウイルスの感染防止につながるのだと思い、歯をくいしばっています。

原因不明のウイルスと最前線で戦っているのは、医療従事者の方々です。きっと、誰よりも不安でしょう。医療従事者の方にもご家族がいます。ご自分の健康が気になる方もいると思います。医療従事者という仕事は、病気やけがを治すだけではありません。病院に通う患者さんは、体の不調とともに、不安を抱えています。その不安を取り除いて、心身ともに健康な状態へ回復させるという役割もあります。患者さんの健康、命を救う医療従事者の方々には、必要な能力や責任が大きいのです。

最近では、その医療従事者の方々への感謝が薄れているように感じます。街の人の声をインタビューしているニュースを何度も家族と観ました。

「若いから感染しても軽症ですむし。」

「飲まないとやってられないっしょ。」

「家にいるのに飽きたし。」

なぜか楽しそうに若い人たちが応えていました。路上での飲酒、マスクをしない不要不急の外出、沢山のひととの飲み会。こんな場面を医療従事者の方が観たらどう感じるのだろうか
と胸が痛くなりました。その想像力の欠如した油断した行動で、医療従事者の方々の心を傷つけているのです。医療従事者の方々は寝る間も惜しんで私達の未来のために、誰よりも真剣に戦っているのに。

医療従事者の問題として、人手不足があるそうです。人体に起こる幅広い症状と戦わなければならない医療現場では、どの分野の医療従事者も、なくてはならない存在です。新型コロナウイルスの感染が拡大し始めてから、将来、医療従事者になりたいと考えるようになりました。これから先も、一人でも多くの医療従事者が必要だと思ふからです。医療に関わるどの仕事も一人で行うことはできません。チームで協力・連携して患者さんを救っていきます。そのため、上手に周りの人と協力していく力、コミュニケーション能力が必要だと思ふのです。

私は中学校で生徒会役員として活動しています。ときには、役員同士の意見がぶつかる時も、また、生徒会の意見を他の生徒達にうまく理解してもらえない時もあります。そんな時は、まず相手の意見をききます。それから、自分の意見もわかってもらえるように伝え、お互いの妥協点を探っていきます。

話し合いをまだ上手にできなかった時、苦しんで先生に相談をしたことがありました。

すると、

「あなたは今、コミュニケーション能力を身につけているところだよ。そのうち上手になるから大丈夫。」

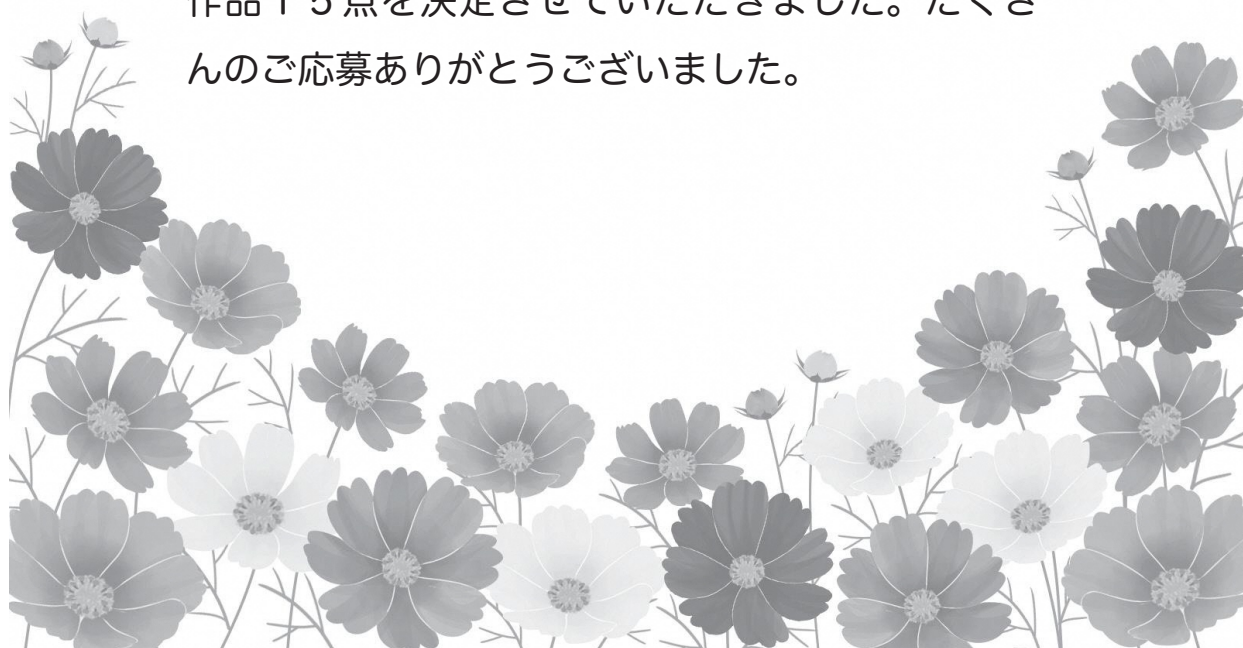
と言われ、肩の力が抜けました。

将来、医療従事者になった時、生徒会役員で身につけた「コミュニケーション能力」を使って、かけがえのない命を一つでも多く救い、沢山のひと達を笑顔にしたいです。

青少年健全育成標語

入賞作品

本庄市青少年育成市民会議が市内全小・中学校より青少年健全育成標語を募集したところ、今回は3,069点のご応募をいただきました。どの作品もすばらしいものでしたが、市民会議で厳正に審査した結果、次のように最優秀作品2点、優秀作品15点を決定させていただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。



令和3年度 青少年健全育成標語入賞作品 (小学生の部)

最優秀作品 (小学校)

共和小学校 5年 ^{でうし}出牛 ^{ひな}緋菜
マスクでも 目と目で伝わる 「ありがとう」

優秀作品

本庄西小学校 5年 ^{こぐれ}小暮 ^{さくら}桜
一人じゃない 困ったときは まず相談

北泉小学校 5年 ^{まつもと}松本 ^{ひかる}輝
子の成長 家族みんなが サポーター

本庄東小学校 6年 ^{わたなべ}渡邊 ^{こうた}公太
コロナになんか負けないぞ ぼくの人生 これからだ

本庄南小学校 6年 ^{あらい}荒井 ^{こはれ}心晴
なにげない 家族の時間 心の栄養

旭小学校 6年 ^{みやした}宮下 ^{せな}惺七
ありがとう 人との心を つなぐ糸

児玉小学校 5年 ^{ほんごう}本郷 ^{のぞみ}希美
ひがい者に そっとよりそう 仲間の手

北泉小学校 5年 ^{ままだ}儘田 ^{あお}碧
きずつける その一言を ゆるさない

令和3年度 青少年健全育成標語入賞作品 (中学生の部)

最優秀作品 (中学校)

本庄東高等学校附属中学校 2年 いしだ 石田 みゆう 心優
ちゃんと見て スマホじゃなくて 相手の目

優秀作品

本庄西中学校 2年 なかお 中尾 ひかる 輝流
多様性 認め合えれば 平和の輪

本庄東中学校 2年 おおさわ 大澤 りょうま 遼真
いつだって 家族は私の 応援団

本庄東高等学校附属中学校 3年 くりはら 栗原 すみれ 堇
いじめはね 相手も自分も 傷つける

児玉中学校 1年 たじま 田島 だいち 大馳
あいさつは 心を磨く 第一歩

児玉中学校 3年 にしまえ 西前 りゅうと 颯人
僕たちが 明るい未来の創造者

本庄南中学校 3年 なかじま 中島 あゆこ 逢柚子
目指したい 心の中から バリアフリー

本庄東中学校 3年 たかだ 高田 ゆい 優衣
助け合い みんなでつなごう 地域の輪

本庄南中学校 3年 のぐち 野口 えいた 詠太
その言葉 言っているのか 考えて

青少年・青少年育成者等 功勞表彰

青少年の健全育成に努め功績顕著な者、青少年のうち他の模範となる者及び他の規範となる活動を継続的に行っている青少年団体等を表彰し、その実績を広く市民の皆様にご紹介いたします。



令和3年度 本庄市青少年育成市民会議 青少年・青少年育成者等功労表彰受賞者(団体)一覧

●青少年育成者の部

- ・^{まつむら ひでき}松村 英樹 氏 (すみれFC Norte jrスポーツ少年団 代表・監督)

「すみれFC Norte jr」の立ち上げ以来、監督として活動し、数年前からは代表も兼務している。平成22年に日本スポーツ少年団認定員指導者の資格を取得。グラウンドでの子どもたちのサッカー指導、学年ごとに活動するチームのスケジュール管理も行うなど、チームの活動に尽力し、青少年の健全育成に貢献している。

- ・^{たかやなぎ ゆきお}高柳 幸生 氏 (すみれFC Norte jrスポーツ少年団 コーチ)

「すみれFC Norte jr」の立ち上げ以来、コーチとして子どもたちのサッカー指導に携わり、チームの活動に多大な貢献をしている。平成22年には日本スポーツ少年団認定員指導者の資格を取得し、青少年の健全育成に貢献している。

- ・^{きくち おさむ}菊地 修 氏 (本庄ジュニアバドミントン シャトルスターズスポーツ少年団 指導者)

本庄ジュニアバドミントン シャトルスターズスポーツ少年団の指導者として、12年間にわたり小学生へのバドミントン指導を行っている。平成24年に日本スポーツ少年団認定員指導者の資格を取得し、青少年の健全育成に貢献している。

- ・^{おおさわ のりひと}大澤 則仁 氏 (本庄ジュニアバドミントン シャトルスターズスポーツ少年団 指導者)

本庄ジュニアバドミントン シャトルスターズスポーツ少年団の指導者として、10年間にわたり小学生へのバドミントン指導を行っている。平成24年に日本スポーツ少年団認定員指導者の資格を取得し、青少年の健全育成に貢献している。

- ・^{てらだ しげひろ}寺田 茂弘 氏 (本庄北泉ジェッターズスポーツ少年団 ヘッドコーチ)

本庄北泉ジェッターズスポーツ少年団ヘッドコーチとして、11年間にわたり小学生への軟式野球の指導を行っている。平成22年に日本スポーツ少年団認定員指導者の資格を取得し、本庄市のスポーツ少年団競技力の向上のみならず他者への尊重や思いやりの心を養い、生活習慣や健康管理について指導を行うなど、その活動を通じて青少年の健全育成に貢献している。

- ・^{しばた こうじ}柴田 耕志 氏 (本庄エンゼルススポーツ少年団 公認審判・児玉郡市少年野球審判長)

本庄エンゼルススポーツ少年団公認審判として、また児玉郡市少年野球審判長として、審判のみならず子どもたちの技術指導をしており、様々な角度からのアドバイスには定評がある。平成23年に日本スポーツ少年団認定員指導者の資格を取得。その活躍は団の精神的な支えとなっており、青少年の健全育成に貢献している。

・ おおの まこと 大野 真 氏 (本庄エンゼルススポーツ少年団 コーチ・マネージャー)

平成22年に日本スポーツ少年団認定員指導者の資格を取得したのち、育成コーチとして活躍しつつマネージャーとして、スコアラーや団の運営にも貢献し選手の良きアドバイザーとしてベンチ内でも緩急をつけた指導には目を見張るものがある。長年にわたり選手たちをサポートし、青少年の健全育成に貢献している。

●団体の部

・おはなしラビット (平成14年4月 設立)

平成14年4月に活動を開始し、子ども達に本の魅力を伝えながら豊かな心を育むために、本庄東小学校で朝の読み聞かせや業間読み聞かせ、なかよし学級に向けたおはなし会など様々な活動を行っている。また、コロナ禍においても、読み聞かせを録画しモニター放送を行うなどの活動を継続し、青少年の健全育成に貢献している。

・森のこみち (平成14年4月 設立)

平成14年4月に設立。本庄西小学校において19年の長きにわたり児童への読み聞かせボランティアを行っている。

心豊かな子ども達を育むことを大切にしたいボランティア活動を続け、コロナ禍にあっても本庄西小学校と連携を図りながら、児童と本との出会いが途切れることのないよう尽力し、青少年の健全育成に貢献している。

・よむよむ (平成19年4月17日 設立)

平成19年4月設立以降、14年の長きにわたり、共和小学校で月に一度、全クラスに出向いて読み聞かせボランティアを行っている。

コロナ禍において学校での活動が制限される中、学校外で練習会を行い、小学1・2年生に読み聞かせを行うなど、子どもと本との出会いが途切れることのないよう尽力しており、その功績は多大である。

本庄市青少年育成市民会議の主な行事

5月 青少年育成埼玉県民会議総会

6月 本庄市青少年育成市民会議総会

7月 青少年非行防止街頭キャンペーン 駅周辺・商業施設
(合同開催：社会を明るくする運動本庄市実行委員会・埼玉県)

〃 第1回青少年非行防止夜間パトロール 本庄駅・児玉駅周辺巡回

10月 青少年育成管外研修(対象：中学2年生)

〃 第2回青少年非行防止夜間パトロール 本庄駅・児玉駅周辺巡回

11月 青少年健全育成のつどい(青少年の主張発表会・主張発表者表彰・青少年健全育成標語入賞者表彰・青少年育成者等功労表彰)

12月 青少年育成推進員学校訪問

2月 第3回青少年非行防止夕方パトロール 本庄駅・児玉駅周辺巡回

〃 親子名作映画劇場(会場：本庄市民文化会館・本庄市児玉文化会館セルディ)

本庄市青少年育成市民会議の活動のようす



青少年健全育成のつどい

青少年育成管外研修



青少年非行防止パトロール

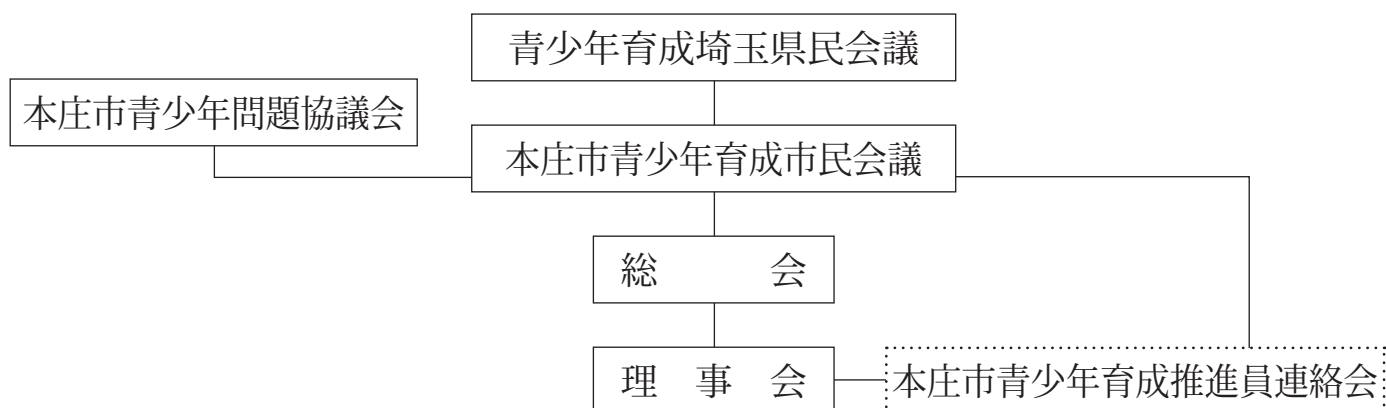


社会を明るくする運動

親子名作映画劇場



本庄市青少年育成市民会議組織図



No.	団体名	評議員	理事
1	本庄市子ども会育成会連合会	2	1
2	ボーイスカウト本庄第1団	2	1
3	本庄市スポーツ少年団	2	1
4	(公社)こだま青年会議所	2	1
5	本庄市民生委員・児童委員協議会(主任児童委員)	2	1
6	サラ本庄	2	1
7	本庄地区保護司会本庄支部	2	1
8	児玉地区保護司会児玉支部	2	1
9	本庄市更生保護女性会	2	1
10	本庄市児玉町更生保護女性会	2	1
11	本庄上里地区学校・PTA・警察連絡協議会	2	1
12	児玉郡南部地区学校・PTA・警察連絡協議会	2	1
13	熊谷人権擁護委員協議会本庄部会	2	1
14	本庄市自治会連合会	1	1
15	本庄ライオンズクラブ	2	1
16	本庄ロータリークラブ	2	1
17	本庄商工会議所	1	1
18	本庄市老人クラブ連合会	2	1
19	本庄市福祉事務所(地域福祉課)	2	0
20	本庄市青少年相談員協議会	1	1
21	本庄市青少年育成推進員連絡会	0	25
合計人数		37	44



毎月第3日曜日は 「家庭の日」

毎月第3日曜日は「家庭の日」

「家庭」は、青少年を健全に育成するための最も重要な生活の基盤です。青少年育成埼玉県民会議では、家庭と家族一人ひとりが愛情と信頼で結ばれ、心のふれあいを図ることのできる場とするため、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めています。

本庄市青少年育成市民会議では、青少年の健全育成を目的として、「家庭の日」の普及を推進しています。また、各種青少年育成団体相互の連絡協調を図りながら、社会環境の浄化の推進及び青少年の健全育成活動を推進しています。

本庄市青少年育成市民会議

(事務局)

本庄市教育委員会 生涯学習課

〒367-8501 埼玉県本庄市本庄3-5-3

TEL 0495-22-3248 FAX 0495-25-1193

E-mail gakusy@city.honjo.lg.jp